

地域密着型金融の進捗状況 (期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日)

但馬信用金庫

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(1) 創業・新規事業開拓

項目	件数
当金庫が関与した創業件数	30件
当金庫が関与した第二創業件数	2件

創業・新規事業開拓について、お客さまの創業負担を軽くするため、補助金情報を随時発信し、お客さまへの情報提供をおこなった。また創業期の事業者の情報発信や、地域の事業者との交流を図るため、12月2日に兵庫県で初めての開催となる第1回地域クラウド交流会を開催し、136名の参加をいただいた。融資以外の資金供給方法として、(一財)民間都市開発推進機構と連携し、城崎まちづくりファンド有限責任組合を組成。豊岡市城崎地区での創業支援を実施する態勢を整えた。また地域経済活性化支援機構(REVIC)と連携し、朝来市竹田地区の歴史的建造物のリノベーション資金について、REVICのファンドと連携した資金提供を実施した。

(2) 成長段階における更なる飛躍

項目	件数・金額等
本業(企業価値の向上)支援先数(情報提供含む)	519先 (前年226先)
うち販路開拓支援を行った先数(成約数)	109先 (前年35先)
うち中小企業に対する経営人材・経営サポート人材・専門人材の紹介数(成約数)	20人 (前年7人)
うち外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数(成約数)	13先 (前年7先)
クラウドファンディング成約件数	3件
コベナントを設定した無担保当貸(平成30年3月末現在)	38件 (極度額合計2,450百万円)
経営者保証を付さない融資取組(期中実績)	330件

ビジネスマッチングについては、兵庫県信用金庫協会の川上川下ビジネスネットワーク事業・信金中央金庫のビジネスマッチングに加え、当金庫顧客同士のビジネスマッチングも推進し、販路開拓支援件数は飛躍的に増加している。更に新たに事業支援部地域創生課に加わったアパレル出身の職員の働きにより、靴業界のマッチングも広がった。また様々な業者との連携も行い、人材のマッチング、外部専門家とのマッチングやクラウドファンディングの活用を進めている。財務制限条項(コベナント)を付した無担保当貸は、商品として定着しており、安定した契約数を確保し、決算の都度、業績を確認しコベナント条項の達成状況を確認する態勢を構築できている。経営者保証を付さない融資取組については、チェックリストに基づき、経営者保証の必要性や保証金額の妥当性の検討を行う態勢を構築している。

(3) 経営改善・事業承継等

項目	件数・金額等
事業再生支援先における実抜計画策定先数	14先
金融機関がメインバンクとして取引を行っている企業のうち、経営指標の改善(売上高、経常利益)や就業者数の増加が見られた先数(グループベース)	メイン先数 899先 (融資残高 512億円) うち改善先数 634先 (融資残高 393億円)
M&Aマッチング成約先(平成29年度)	5先

経営改善の支援として、第三者機関・専門家・他金融機関・信用保証協会とも連携しながら、条件変更を含め、顧客企業の経営改善に資する取組を実施し、課題を明確にし、顧客と一緒に経営改善計画の策定、フォローアップを実施し、ランクアップに向けて取り組んでいる。また中小企業再生支援協議会との連携を図り、積極的に経営再建計画の策定支援を行うことや、外部コンサルタントと連携し、経営改善が必要な顧客に繋ぐことで、事業再生策の策定を進めている。廃業支援については、専門機関等にも相談しながら、M&Aを活用した支援について模索しており、継続して取組むことでノウハウを蓄積していく。営業店と連携し、M&Aマッチング支援に取り組んでおり、親族内承継、親族外承継、第三者によるM&Aに分けて、顧客の課題に合った支援を進める。

《債務者区分のランクアップ先および不良債権比率の数値目標の公表(H28～H29年度累計実績)》

公表数値目標の内容	目標	実績
不良債権比率(金融再生法に基づく資産査定開示債権)(H30.3)	4.0%	4.5%
事業貸出先全体に対する債務者区分のランクアップ先数	60先	58先
経営改善支援取組先に対する債務者区分のランクアップ先数	10先	14先

(4) 人財育成

基盤産業や成長産業等の支援強化を通じた職員のスキルアップのため、「事業性評価力養成セミナー」を実施。また、融資部、事業支援部講師による短期トレーニー研修を実施し、事業性評価融資の取組み等について全店へ情報共有を図った。また外部への研修参加として、近畿地区信用金庫協会主催「企業・事業再生支援研修会」等に職員が参加した。

2. 地域の面的再生への積極的参画

地方版総合戦略の達成に向け、本部主導で各種の協力施策を企画・提案しており、靴業界や観光業界の活性化に向け、連携して取り組みを行なっている。また、近年継続している観光客誘致のためのキャラバンについても、29年度は京都府・大阪府・和歌山県の5金庫に湯村温泉キャラバン訪問を実施し、29年度は約1,000名を誘客するなど、一定の成果をあげている。

当金庫が設立母体の公益財団法人たんしん地域振興基金が実施する「たんしん経営塾」は17期生を新たに迎え、若手経営者・経営幹部への勉強会を実施している。また、「たんしん経営塾」卒業生で構成する「たんしん経営塾OB会」は、会員が200名を超える規模になっており、異業種交流の場としての活動もおこなっている。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

ディスクロージャーおよびホームページに推進計画の進捗状況や地域密着型金融についての取組みについて公表している。また、クラウドファンディングでの成約についても、当金庫のホームページでも紹介した。当金庫が四半期毎に実施している但馬地域の事業者を対象とした景気動向調査については、信金中央金庫が実施している全国を対象とした調査結果との比較もおこない、ホームページで四半期ごとに公表している。

以上